

①自治会と自治協議会のあり方(組織、活動)

○目指す姿 <自治とまちづくりが一つとなる地域を目指す。>

- 各自治会が自治協議会に参画し、自治会と自治協議会の情報共有が常に図られている。
- 誰でも参画でき、地域の意見が言いやすく、地域住民から多くの提案が反映される組織。
- 自治会、自治協議会の双方が連携し、地域の目指す姿、目標が共有できている状態。
- 各自治会が抱えている課題を同じ地域の課題として自治協議会の中で話し合える組織。
- 住民自治を基本に、自治会ができないことを自治協議会が担っている補完関係の状態。
- 事業や活動の棚卸しにより、役員の負担が軽減された組織。

【対策】

- ・自治会長会と自治協議会の代表者の合同会議・研修会
- ・継続的な各自治協議会の良い取り組みのノウハウを学ぶ研修会(好事例から学ぶ)
- ・自治会と自治会長会、自治協議会を繋ぐ一つの関係として、自治会長会の元会長が自治協議会の会長にスライドすると人が上手く繋がる。
- ・やりたい人が関わられる提案型の部会。
- ・組織にこだわらない委員や役員の選び方。
- ・自治会長会と自治協議会との連合会を立ち上げ、連携が取れる仕組みづくり(地域で話し合い、いい方向性を見出す)。 など

